

第2章 全体目標の評価

健康おきなわ21（第2次）では、健康・長寿沖縄の維持継承のため、「平均寿命の延伸」と「健康寿命（日常生活に制限のない期間の平均）の延伸」及び「早世の予防」を全体目標に設定しており、「平均寿命」、「健康寿命」及び「20～64歳の年齢調整死亡率」の改善を指標として評価を行いました。

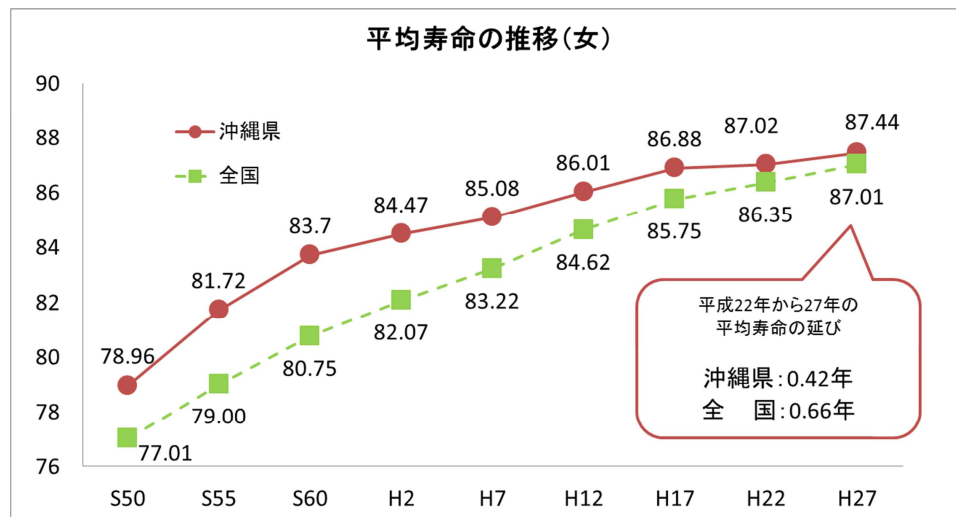
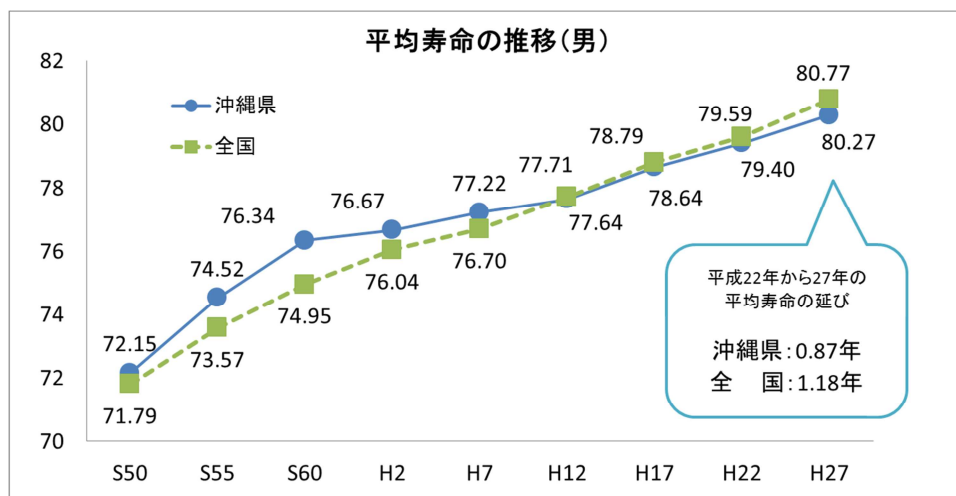
区分	番号	項目	ベースライン値	出典	前期目標(H29)	直近値(中間評価時)	全国値	後期目標(H34)
(1) 平均寿命の延伸								
平均寿命	1	平均寿命(男性)	79.40年	H22・H27年 都道府県別 生命表	延伸	80.27年	80.77年	延伸
	2	平均寿命(女性)	87.02年			87.44年	87.01年	
	3	65歳平均余命(男性)	19.50年			19.80年	19.46年	
	4	65歳平均余命(女性)	24.89年			25.19年	24.30年	
	5	75歳平均余命(男性)	12.35年			12.62年	12.06年	
	6	75歳平均余命(女性)	16.46年			16.51年	15.68年	
(2) 健康寿命の延伸								
健康寿命	7	日常生活に制限のない期間の平均 男性	70.81年	健康日本21 (第二次)の地域格差の評価 と要因分析に関する研究	健康寿命の増加分 が平均寿命の増加分を上回 ること	71.98年 (1.17年)	※ 平均寿命 増加年数 0.87年 0.42年	健康寿命の増加分 が平均寿命の増加分を上回 ること
	8	女性	74.86年			75.46年 (0.60年)		
(3) 20-64歳の年齢調整死亡率(全死因)の減少								
年齢調整死亡率	9	男性(全国比)	沖縄298.8人 全国249.9人 (1.19倍)	人口動態統計 特殊報告	全国 平均値 全国比 男:1.00倍 女:1.00倍	265.4人 (1.23倍)	214.3人	減少
	10	女性(全国比)	沖縄128.4人 全国118.0人 (1.08倍)			129.7人 (1.21倍)	106.8人	

(1) 平均寿命の延伸

平成27年都道府県別生命表によると、沖縄県の平均寿命は、男性が80.27年、女性が87.44年であり、今回、男性は80年に初めて到達しました。また、平成22年平均寿命と比較すると、男性は0.87年、女性は0.42年延伸しました。

一方、全国の男性は1.18年、女性は0.66年延伸しており、平均寿命の伸びについては、沖縄県は男女ともに全国を下回りました。その結果、男性は30位から36位、女性は3位から7位と、前回に続いて男女ともに順位を下げました。

また、各年齢の平均余命は、平成22年に比べて65歳男性が0.30年、75歳男性が0.27年、65歳女性が0.30年、75歳女性が0.05年それぞれ延伸しました。



平均寿命とは

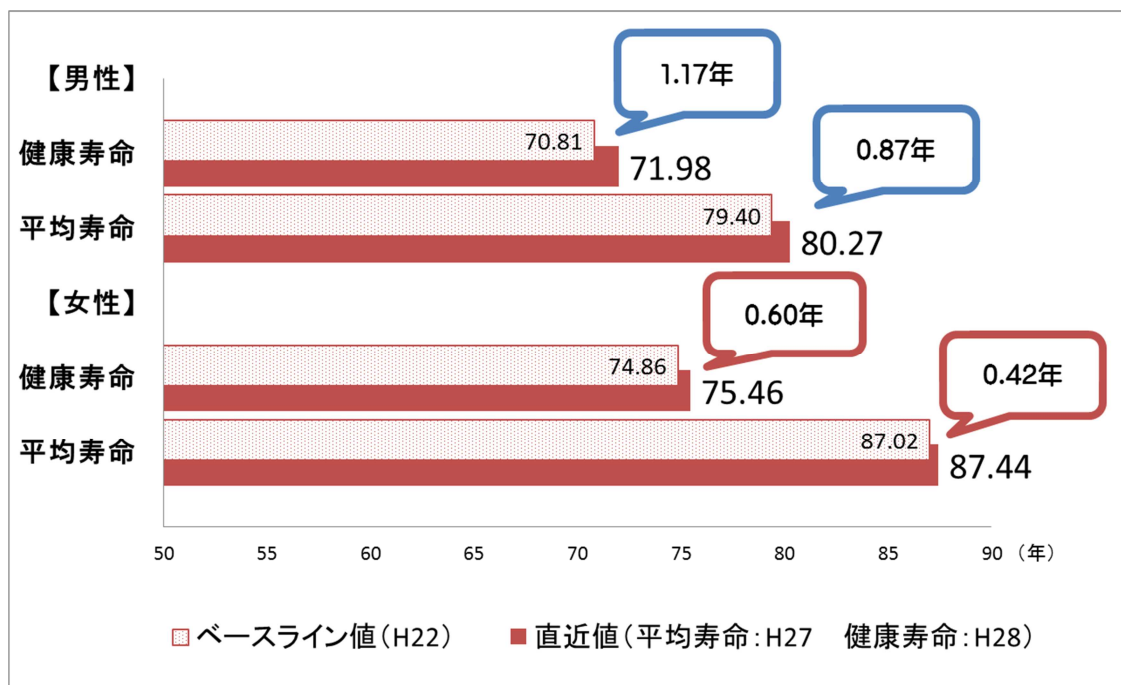
その年の年齢階層別死亡率が続くと仮定したときに、その年に生まれた0歳児が平均で何年生きられるかを現した推計値です。

(2) 健康寿命の延伸

健康おきなわ21第2次においては、健康寿命と平均寿命の差、つまり日常生活に制限のある「不健康な期間」を縮小することが重要とし、全体目標の指標に設定しました。

平成28年の沖縄県の健康寿命は、男性71.98年、女性75.46年であり、平成22年に比べて、男性は1.17年、女性は0.60年延びています。また、平均寿命は、平成22年から平成27年の間に男性が0.87年、女性が0.42年延びており、健康寿命の延びと平均寿命の延びを比較すると、男女ともに健康寿命の延びが平均寿命の延びを上回っています。

沖縄県における健康寿命と平均寿命のベースライン値と直近値及び増加（延伸）年数の比較



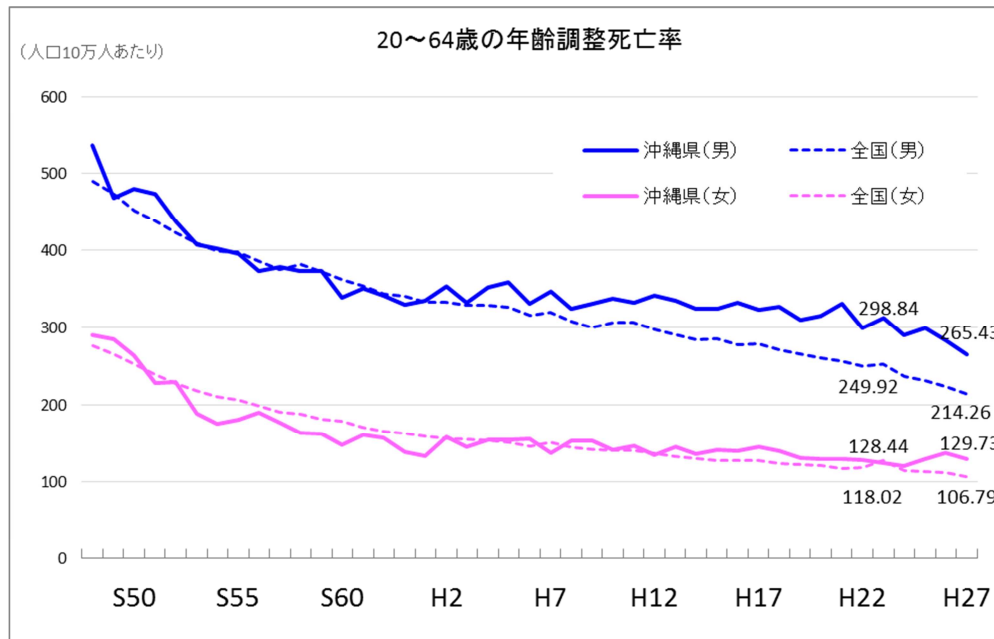
健康寿命とは

さまざまな定義がありますが、国は、健康日本21(第二次)の中で、客観性の強い「日常生活に制限のない期間の平均」を用いています。

健康寿命と平均寿命の差が日常生活に制限のある「不健康な期間」を現します。

(3) 20～64歳の年齢調整死亡率の減少

20～64歳の年齢調整死亡率について、平成27年は平成22年と比較し、男性は減少、女性は有意な変化はありませんでした。また、全国比では、全国男性の20～64歳の年齢調整死亡率の減少が著しく、沖縄県との差が拡大しています。また、全国女性では、20～64歳の年齢調整死亡率が有意に減少しています。沖縄県は有意な増加ではないものの増加傾向にあり、全国との差が有意に拡大しています。



(ア) 年齢調整死亡率の推移

沖縄県の20～64歳の年齢調整死亡率は、男性が平成22年298.8、平成27年265.4と減少しています。一方、女性は、平成22年128.4、平成27年129.7と横ばいです。

全国と比較すると、男性は、平成22年の沖縄県と全国の比が1.19倍（沖縄県298.8、全国249.9）、平成27年は1.23倍（沖縄県265.4、全国214.3）と差が広がっています。女性においても、平成22年の沖縄県と全国の比が1.08倍（沖縄県128.4、全国118.0）、平成27年は1.21倍（沖縄県129.7、全国106.8）と差が広がりました。

全年齢の年齢調整死亡率は、男女ともに平成22年と比べて減少してきていますが、平成27年の全国比は男性1.03倍（平成22年1.01倍、平成17年0.97倍）、女性は0.99倍（平成22年0.97倍、平成17年0.96倍）と全国との差が男性は拡大、女性は縮小する傾向にあります。

(イ) 疾病別の年齢調整死亡率の推移

沖縄県の疾病別年齢調整死亡率は、全死因において、平成22年に比べ平成27年は、男女ともに減少しています。

疾病別に見ると、男性は心疾患、急性心筋梗塞、脳血管疾患、脳梗塞、肺炎、慢性閉塞性肺疾患、自殺で有意に減少しており、女性では心疾患、虚血性心疾患、急性心筋梗塞、脳血管疾患、脳梗塞、肺炎、慢性閉塞性肺疾患が有意に減少しています。有意な差はありませんが、男性では大腸がん、女性では子宮がんが増加の傾向があります。

沖縄県における疾病別年齢調整死亡率（人口10万対）の推移

	男性				女性			
	H17_2005	H22_2010	H27_2015	推移	H17_2005	H22_2010	H27_2015	推移
全死因	576.64	547.32	498.48	↓	287.95	267.00	251.67	↓
悪性新生物（がん）	177.15	158.95	153.05	→	89.21	85.24	86.17	→
肺がん	46.15	38.86	36.63	→	14.51	11.50	10.77	→
大腸がん	22.16	24.05	25.78	→	12.91	11.36	12.26	→
乳がん					9.55	13.41	11.39	→
子宮がん					6.60	7.63	9.91	→
糖尿病	10.02	7.58	6.69	→	6.25	4.13	3.86	→
心疾患	71.15	71.56	61.46	↓	39.97	34.68	30.47	↓
虚血性心疾患	38.17	39.18	35.35	→	20.41	14.89	11.47	↓
急性心筋梗塞	28.02	24.99	17.50	↓	16.13	9.83	5.73	↓
脳血管疾患	51.88	48.38	38.11	↓	23.07	22.35	17.53	↓
脳内出血	21.32	21.94	18.33	→	8.15	7.37	6.50	→
脳梗塞	22.71	17.68	13.93	↓	8.77	9.08	5.87	↓
肺炎	48.98	39.74	33.26	↓	20.12	16.78	13.97	↓
慢性閉塞性肺疾患	16.99	12.77	9.34	↓	4.53	3.89	1.62	↓
肝疾患	21.10	17.87	18.67	→	7.51	5.78	5.99	→
腎不全	7.69	6.75	6.83	→	4.92	4.32	4.20	→
自殺	39.37	36.18	28.63	↓	8.68	12.81	8.49	↓

※推移検定は平成22年との比較による。5%有意水準による差の検定結果により判定した。

出典：人口動態統計

※※表中の「推移」の矢印は、「→：横ばい」、「↓：有意に減少」を表す。

また、20～64歳の疾病別年齢調整死亡率では、男性は心疾患、急性心筋梗塞、脳血管疾患、脳梗塞、自殺で有意に減少しており、女性は自殺が有意に減少しています。有意差はありませんが、男性では大腸がん、女性では悪性新生物、子宮がん、腎不全が増加の傾向があります。

沖縄県における疾病別20～64歳の年齢調整死亡率（人口10万対）の推移

	男性				女性			
	H17_2005	H22_2010	H27_2015	推移	H17_2005	H22_2010	H27_2015	推移
全死因	323.26	298.84	265.43	↓	145.25	128.44	129.73	→
悪性新生物（がん）	85.11	76.69	75.57	↓	58.33	54.31	62.32	→
肺がん	15.40	12.02	11.41	→	5.96	4.84	5.19	→
大腸がん	14.89	16.59	17.47	→	6.87	6.00	7.33	→
乳がん					11.50	14.60	11.85	→
子宮がん					5.04	7.15	10.99	→
糖尿病	8.57	3.65	4.75	→	2.79	1.39	1.99	→
心疾患	34.38	38.31	29.30	↓	14.74	11.38	10.14	→
虚血性心疾患	18.48	22.26	20.02	→	7.89	5.18	5.12	→
急性心筋梗塞	12.64	15.14	8.08	↓	7.21	3.12	1.74	→
脳血管疾患	28.32	29.40	19.66	↓	10.86	8.94	7.89	→
脳内出血	17.38	16.61	13.05	→	5.35	3.36	3.36	→
脳梗塞	3.21	3.94	1.48	↓	0.65	1.15	0.31	→
肺炎	8.84	6.13	5.74	→	2.29	2.28	2.18	→
慢性閉塞性肺疾患	1.91	1.69	1.98	→	0.24	0.00	0.00	→
肝疾患	23.59	20.55	21.14	→	5.54	4.47	5.22	→
腎不全	2.99	1.30	1.42	→	0.47	0.96	1.62	→
自殺	55.50	49.35	36.83	↓	12.81	18.26	11.30	↓

※推移検定は平成22年との比較による。5%有意水準による差の検定結果により判定した。

出典：人口動態統計

※※表中の「推移」の矢印は、「→：横ばい」、「↓：有意に減少」を表す。

主な死因の年齢調整死亡率及び都道府県順位については、以下のとおりです。

○全死因（平成 27 年死亡数：男性 5,992 人、女性 5,334 人）

平成 27 年の年齢調整死亡率（以下、「死亡率」という）は、平成 22 年と比較すると男女とも低下していますが、30～60 歳代においては全国よりも高い傾向が続いています。

男性の死亡率の減少幅は、沖縄県 48.8、全国 58.3 と沖縄県の減少幅が小さく、都道府県順位は 27 位から 31 位に下がりました。

女性の減少幅は、沖縄県 15.3、全国 19.9 と沖縄県の減少幅が小さく、都道府県順位は 14 位から 21 位に下がりました。

○大腸がん（平成 27 年死亡数：男性 288 人、女性 196 人）

男性の死亡率は、平成 22 年 24.1 から平成 27 年 25.8、全国は平成 22 年 21.0 から平成 27 年 21.0 であり、沖縄県では 1.7 増加傾向、全国は変化がみられませんでした。都道府県順位は 44 位から 46 位に下がりました。

女性の死亡率は、平成 22 年 11.4 から平成 27 年 12.3、全国は平成 22 年 12.1 から平成 27 年 12.1 であり、沖縄県は 0.9 増加傾向、全国は変化がみられませんでした。都道府県順位は 14 位から 31 位に下がりました。

○子宮がん（平成 27 年死亡数：女性 101 人）

死亡率は、平成 22 年 7.6 から平成 27 年 9.9、全国は平成 22 年 5.3 から平成 27 年 5.6 であり、沖縄県は 2.3 増加傾向、全国は 0.3 増加傾向がみられました。都道府県順位は 46 位から 47 位に下がりました。

○糖尿病（平成 27 年死亡数：男性 76 人、女性 79 人）

男性の死亡率は、平成 22 年 7.6 から平成 27 年 6.7、全国は平成 22 年 6.7 から平成 27 年 5.5 であり、沖縄県では 0.9 減少傾向、全国は 1.2 の減少傾向がみられました。都道府県順位は 37 位から 41 位に下がっています。

女性の死亡率は、平成 22 年 4.1 から平成 27 年 3.9、全国は平成 22 年 3.3 から平成 27 年 2.5 であり、沖縄県は 0.2 減少傾向、全国は 0.8 減少傾向がみられました。都道府県順位は 41 位から 47 位に下がっています。

○急性心筋梗塞（平成 27 年死亡数：男性 211 人、女性 138 人）

男性の死亡率は、平成 22 年 25.0 から平成 27 年 17.5、全国は平成 22 年 20.4 から平成 27 年 16.2 であり、沖縄県では 7.5 減少、全国は 4.2 減少がみられました。都道府県順位は 38 位から 28 位に上がっています。

女性の死亡率は、平成 22 年 9.8 から平成 27 年 5.7、全国は平成 22 年 8.4 から平成 27 年 6.1 であり、沖縄県は 4.1 減少、全国は 2.3 減少がみられました。都道府県順位は 30 位から 22 位に上がっています。

○脳内出血（平成 27 年死亡数：男性 200 人、女性 125 人）

男性の死亡率は、平成 22 年 21.9 から平成 27 年 18.3、全国は平成 22 年 17.1 から平成 27 年 14.1 であり、沖縄県では 3.6 減少傾向、全国では 3.0 減少傾向がみられました。都道府県順位は 42 位から 41 位に上がっています。

女性の死亡率は、平成 22 年 7.4 から平成 27 年 6.5、全国は平成 22 年 7.6 から平成 27 年 6.3 であり、沖縄県は 0.9 減少傾向、全国は 1.3 減少傾向がみられました。都道府県順位は 22 位から 23 位に下がっています。

○慢性閉塞性肺疾患（平成 27 年死亡数：男性 133 人、女性 49 人）

男性の死亡率は、平成 22 年 12.8 から平成 27 年 9.3、全国は平成 22 年 9.1 から平成 27 年 7.5 であり、沖縄県では 3.5 減少、全国では 1.6 減少傾向がみられました。都道府県順位は 47 位から 45 位に上がっています。

女性の死亡率は、平成 22 年 3.9 から平成 27 年 1.6、全国は平成 22 年 1.4 から平成 27 年 1.1 であり、沖縄県は 2.3 減少、全国では 0.3 減少傾向がみられました。都道府県順位は 47 位から 45 位に上がりました。

○肝疾患（平成 27 年死亡数：男性 171 人、女性 71 人）

男性の死亡率は、平成 22 年 17.9 から平成 27 年 18.7、全国は平成 22 年 11.2 から平成 27 年 9.8 であり、沖縄県では 0.8 増加傾向、全国では 1.4 減少傾向がみられました。都道府県順位は 47 位のままでした。

女性の死亡率は、平成 22 年 5.8 から平成 27 年 6.0、全国は平成 22 年 3.8 から平成 27 年 3.5 であり、沖縄県は 0.2 増加傾向、全国は 0.3 減少傾向がみられました。都道府県順位は 46 位から 47 位に下がりました。

○自殺（平成 27 年死亡数：男性 224 人、女性 70 人）

男性の死亡率は、平成 22 年 36.2 から平成 27 年 28.6、全国は平成 22 年 29.8 から平成 27 年 23.0 であり、沖縄県では 7.6 減少、全国では 6.8 減少傾向がみられました。都道府県順位は 40 位から 45 位に下がりました。

女性の死亡率は、平成 22 年 12.8 から平成 27 年 8.5、全国は平成 22 年 10.9 から平成 27 年 8.9 であり、沖縄県は 4.3 減少、全国では 2.0 減少傾向がみられました。都道府県順位は 44 位から 22 位に上がりました。

平成27年沖繩県における主要死因の年齢調整死亡率および年齢階級別死亡率の都道府県順位

性別	死因	年齢調整死亡率	年齢階級別死亡率																		
			総数	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-
男	全死因	31	29	33	29	37	18	24	21	47	45	45	46	45	45	36	28	6	1	1	
	悪性新生物	6	1	28	34	40	1	12	1	44	43	5	46	13	35	2	3	2	3	16	
	気管支・肺がん	8	-	1	1	1	1	1	1	46	6	19	8	3	9	5	9	22	31	44	
	大腸がん	46	-	-	-	-	-	-	41	46	20	42	46	41	41	27	44	14	14	24	
	糖尿病	41	13	-	-	-	-	-	1	24	40	40	36	27	47	25	39	15	10	33	
	心疾患	15	2	30	1	1	38	34	20	1	25	40	47	14	13	17	40	35	20	2	1
	虚血性心疾患	39	20	1	1	1	1	1	1	46	45	46	27	29	35	38	38	28	39	17	
	急性心筋梗塞	28	15	1	1	1	1	-	1	38	34	33	5	16	22	19	41	36	32	24	
	脳血管疾患	26	2	1	1	46	1	1	41	10	8	37	39	45	37	42	37	9	8	1	
	脳内出血	41	15	1	1	46	-	1	1	21	19	46	37	47	31	40	43	28	29	23	
	脳梗塞	2	1	-	1	1	1	-	1	1	1	1	1	1	18	38	20	4	2	1	
	肺炎	8	1	31	1	1	1	1	1	35	1	32	1	25	27	38	12	41	8	4	4
	慢性閉塞性肺疾患	45	9	1	1	-	1	1	1	1	1	1	47	42	46	45	43	31	4	4	41
	肝疾患	47	47	1	1	1	1	1	44	47	46	47	47	47	47	44	45	43	42	13	
腎不全	13	3	1	-	-	-	-	1	1	45	36	1	29	6	27	37	14	13	9		
不慮の事故	17	4	15	33	1	41	9	35	24	40	33	42	20	46	35	25	6	5	1	1	
自殺	45	43	-	47	1	22	23	28	24	45	11	14	40	47	47	43	47	39	30	43	
性別	死因	年齢調整死亡率	年齢階級別死亡率																		
女	全死因	21	17	44	35	12	26	10	38	47	47	42	43	44	45	2	5	12	1	1	
	悪性新生物	26	1	45	42	31	32	10	45	41	45	45	37	25	35	4	4	2	12	13	
	気管支・肺がん	26	2	-	-	-	-	-	1	1	42	45	38	28	12	1	26	14	47	39	
	大腸がん	31	1	-	1	1	1	1	1	21	46	10	6	43	31	42	39	11	20	7	
	乳がん	24	1	-	-	-	-	-	46	23	7	36	44	3	6	33	43	24	28	5	
	子宮がん	47	46	-	-	-	-	-	45	44	43	47	37	29	46	46	45	42	46	39	
	糖尿病	47	26	-	-	-	-	-	1	1	41	47	39	43	45	1	39	47	32	45	
	心疾患	11	1	1	1	1	44	40	1	17	45	32	41	9	40	17	10	7	5	2	
	虚血性心疾患	31	6	-	-	-	-	-	45	1	47	38	39	14	44	36	21	15	22	26	
	急性心筋梗塞	22	8	-	-	-	-	-	1	1	45	27	15	1	39	19	26	14	24	28	
	脳血管疾患	3	1	1	1	1	1	1	1	37	45	1	10	32	46	2	17	1	3	2	
	脳内出血	23	3	1	1	1	1	1	1	42	47	1	18	27	39	6	44	7	3	22	
	脳梗塞	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	31	8	1	2	1	1	
	肺炎	13	1	46	47	1	1	1	40	1	1	1	1	45	41	15	36	36	1	9	
慢性閉塞性肺疾患	45	40	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	1	36	41	42	44	47		
肝疾患	47	34	1	1	1	1	45	1	46	44	33	47	44	38	46	46	41	24	19		
腎不全	23	5	-	-	-	-	-	1	1	45	47	46	1	15	18	13	32	1	19		
不慮の事故	4	1	21	1	30	1	37	27	44	1	23	41	42	5	24	8	1	2	1		
自殺	22	10	-	38	11	24	9	16	34	43	17	28	35	38	3	30	12	43	22		

出典：平成27年人口動態統計特殊報告

注：順位は低率順である。
 は、都道府県順位がベスト5。
 は、都道府県順位がワースト5。

【参考】平成22年沖繩県における主要死因の年齢調整死亡率および年齢階級別死亡率の都道府県順位

性別	死因	年齢調整死亡率	年齢階級別死亡率																		
			総数	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-
男	全死因	27	1	41	4	24	46	10	23	37	43	45	46	31	34	18	3	1	1	1	
	悪性新生物	2	1	30	1	30	25	14	8	1	23	10	47	10	2	7	1	1	1	18	
	気管支・肺がん	5	1	-	-	1	1	1	1	1	21	14	30	6	4	2	34	28	46	6	
	大腸がん	44	2	-	1	47	1	1	1	45	37	46	33	47	44	31	33	30	4	6	
	糖尿病	37	10	-	1	1	1	1	1	1	23	41	22	25	29	39	35	39	22	16	
	心疾患	20	2	22	1	38	1	24	27	44	38	17	32	36	42	38	25	35	11	5	2
	虚血性心疾患	36	12	1	1	1	44	1	44	1	27	43	33	42	44	25	37	40	33	27	9
	急性心筋梗塞	38	18	-	1	1	45	1	45	1	37	25	44	44	44	13	35	46	30	20	24
	脳血管疾患	24	1	1	1	43	1	1	1	16	43	46	43	45	46	41	9	32	2	1	1
	脳内出血	42	18	1	1	45	1	1	1	1	38	47	46	47	42	43	30	43	23	30	36
	脳梗塞	1	1	1	1	-	1	1	1	1	45	42	43	14	40	27	5	7	1	1	1
	肺炎	4	1	47	1	1	1	1	1	32	1	14	43	42	22	4	24	2	1	1	7
	慢性閉塞性肺疾患	47	19	1	1	1	-	1	1	1	1	45	1	44	47	30	36	47	33	47	7
	肝疾患	47	44	43	1	1	1	1	1	35	43	47	46	46	47	35	43	27	44	7	3
腎不全	5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	22	5	37	47	36	1	4	1	
不慮の事故	9	2	18	19	47	5	24	25	18	19	12	20	20	40	1	14	23	8	1	3	
自殺	40	34	-	37	25	18	30	44	42	30	23	47	33	17	45	45	2	28	7	7	
性別	死因	年齢調整死亡率	年齢階級別死亡率																		
女	全死因	14	1	34	47	36	19	28	37	32	40	37	44	27	32	30	46	6	4	2	1
	悪性新生物	7	1	1	41	1	32	21	35	8	25	17	25	10	23	17	39	10	9	1	15
	気管支・肺がん	32	3	1	1	1	1	1	1	1	37	25	15	46	1	12	32	19	40	19	46
	大腸がん	14	1	-	-	1	1	1	1	1	24	38	29	31	31	2	8	13	39	31	14
	乳がん	43	25	-	-	-	1	1	1	25	18	9	22	29	47	27	46	43	23	23	37
	子宮がん	46	44	-	-	-	1	43	24	43	29	45	29	23	27	45	43	44	47	47	30
	糖尿病	41	11	-	-	-	1	1	1	1	1	1	39	1	19	46	46	46	20	28	9
	心疾患	6	1	39	43	1	41	1	41	39	47	34	27	24	22	42	26	3	6	3	1
	虚血性心疾患	30	4	1	-	-	1	1	1	42	46	38	46	34	14	24	41	13	32	19	14
	急性心筋梗塞	30	12	-	-	-	1	1	1	43	45	38	42	27	14	25	46	23	34	20	28
	脳血管疾患	5	1	1	1	1	1	1	1	37	18	43	43	18	19	5	37	7	13	1	1
	脳内出血	22	3	1	1	1	1	1	1	44	1	33	42	35	4	29	39	25	17	18	8
	脳梗塞	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	37	47	6	37	15	10	1
	肺炎	9	2	30	44	45	1	47	1	1	1	37	34	1	41	6	2	21	20	3	11
慢性閉塞性肺疾患	47	47	1	1	1	-	-	-	-	1	1	1	1	1	1	40	47	47	47	47	
肝疾患	46	40	1	1	1	1	1	1	38	1	47	36	47	39	45	45	36	43	33	45	
腎不全	13	6	1	-	-	1	1	1	1	1	46	40	40	1	20	21	7	4	9	33	
不慮の事故	2	1	17	45	1	16	15	17	16	11	7	37	23	25	3	28	4	1	2	1	
自殺	44	24	-	47	25	28	42	45	24	42	42	42	47	39	5	2	1	4	28	33	

出典：平成22年人口動態統計特殊報告

注：順位は低率順である。

は、都道府県順位がベスト5。

は、都道府県順位がワースト5。

「心疾患」や「脳血管疾患」については、男女とも年齢調整死亡率が減少していますが、「脳内出血」のように明確に改善がみられない個別の疾患もありました。また、「悪性新生物」のうち、「大腸がん」や「子宮がん」では増加する傾向がみられました。「肝疾患」は増加傾向にある上、都道府県順位において男女とも47位となっており、働き盛り世代の多量飲酒や食生活の乱れが懸念されます。

(ウ) 疾病別の死亡数の状況

平成27年の死亡数をみると、「悪性新生物」、「心疾患」、「肺炎」、「脳血管疾患」が死亡数の上位にあります。死亡数が最も多い「悪性新生物」のうち、男性は「気管支及び肺」、女性では「気管支及び肺」、「大腸」の部位で死亡数が多い状況です。また、生活習慣病である「悪性新生物」、「心疾患」、「脳血管疾患」の3つで全死亡の5割を占めています。

効果的な取組推進のためには、死亡数の状況も踏まえて取組を検討していく必要があります。

平成27年沖縄県における疾病別死亡数および年齢調整死亡率全国順位

	H27死亡数 (人)		H27年齢調整死亡率 (人口10万人対)		H27年齢調整死亡率 全国順位	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
全死因	5,992	5,334	498.5	251.7	31	21
悪性新生物	1,830	1,292	153.1	86.2	6	26
大腸の悪性新生物	288	196	25.8	12.3	46	31
気管支及び肺の悪性新生物	464	196	36.6	10.8	8	26
乳房の悪性新生物		116		11.4		24
子宮の悪性新生物		101		9.9		47
心疾患	750	794	61.5	30.5	15	11
虚血性心疾患	409	253	35.4	11.5	39	31
脳血管疾患	458	427	38.1	17.5	26	3
脳内出血	200	125	18.3	6.5	41	23
脳梗塞	199	209	13.9	5.9	2	1
糖尿病	76	79	6.7	3.9	41	47
肝疾患	171	71	18.7	6.0	47	47
肺炎	487	413	33.3	14.0	8	13

※全国順位は低率順位による順位：死亡率が最も低い→1位

(4) まとめ

平均寿命は延伸していますが、全国に比べて延びが鈍い状況が続いています。平均寿命の延びが鈍い結果、男女ともに都道府県順位が下がり続けており、その要因として、年齢調整死亡率の改善幅が小さく、特に働き盛り世代において全国との差の拡大を止められない状況にあることが考えられます。

本計画の全体目標である「平均寿命の延伸」、「健康寿命の延伸」及び「早世の予防」を達成するためには、年齢調整死亡率が高く、死亡数の多い生活習慣病の発症と重症化を予防することが重要です。引き続き、重点的に取り組む事項である①特定健診・がん検診の受診率の向上、②肥満の改善、③アルコール対策について働き盛り世代への取組強化を図ります。特に、年齢調整死亡率の改善がみられなかった働き盛り世代の女性においても焦点を当てた対策を講じていく必要があります。

また、「健康格差」については、引き続き、地域や社会経済状況の違いによる健康状態についての情報収集及び必要な調査分析を行うなど、実態把握に努め、課題に応じた健康づくりを推進するとともに、社会全体が相互に支え合う環境整備を進め、健康格差の縮小に向けた取り組みを行う必要があります。

健康格差とは

人々の健康は、地域、職業、経済力、世帯構成等による生活習慣の差や保健医療・地理的条件の違いにより、健康格差に影響を及ぼすことが明らかとなっています。

そのことが、地域における健康水準の差、すなわち健康格差の問題とし認識されるようになってきました。

(引用：厚生労働省 健康日本21(第二次)の推進に関する資料)